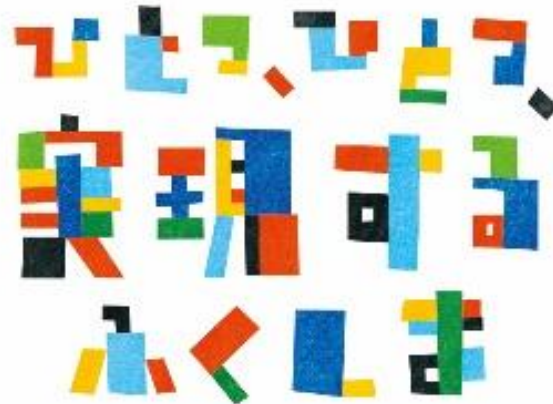


# 議事(2) 意見交換



令和7年1月24日  
猪苗代湖水面利活用基本計画推進協議会

## ○利用状況の調査

河川法による規制の施行後の利用状況や危険箇所・危険行為の把握のため、下記の調査を実施した。

### ( i ) 利用実態調査

- 調査対象者:各浜の事業者、周辺地区の区長等
- 調査方法:聞き取り、個票への記入
- 回答総数:33人
- 調査期間:令和6年9月～10月
- 主な質問事項:船舶の利用状況、危険な行為の発生状況など

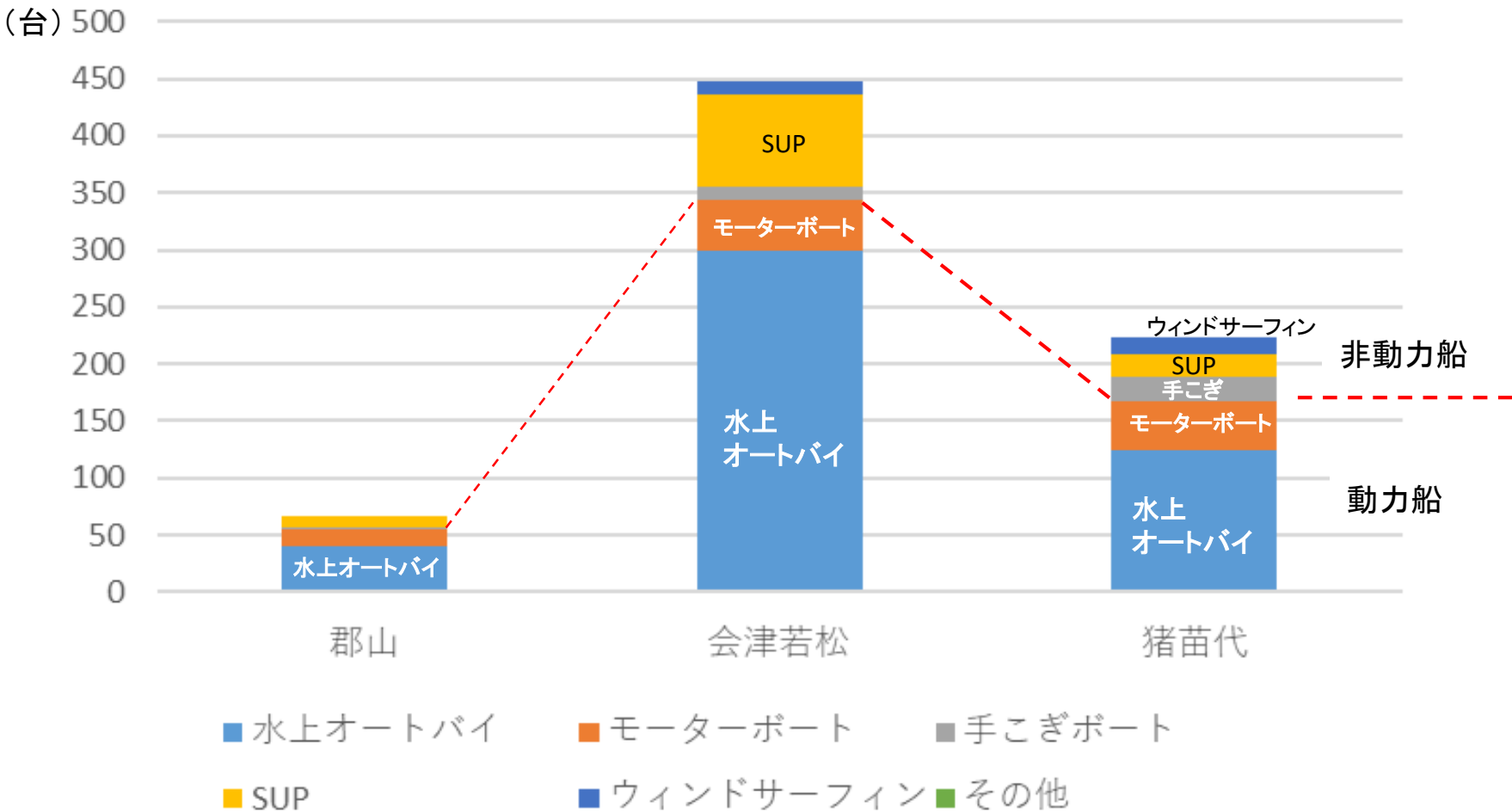
### ( ii ) Webアンケート調査

- 調査対象者:各浜の事業者
- 調査方法:Web上での回答
- 回答総数:16事業者
- 調査期間:令和6年11月
- 主な質問事項:外国人客の利用状況、ルールの周知手段など

# 利用状況の調査結果について

## (i) 利用実態調査結果

船舶の利用状況(多い日に何台の利用があるか)



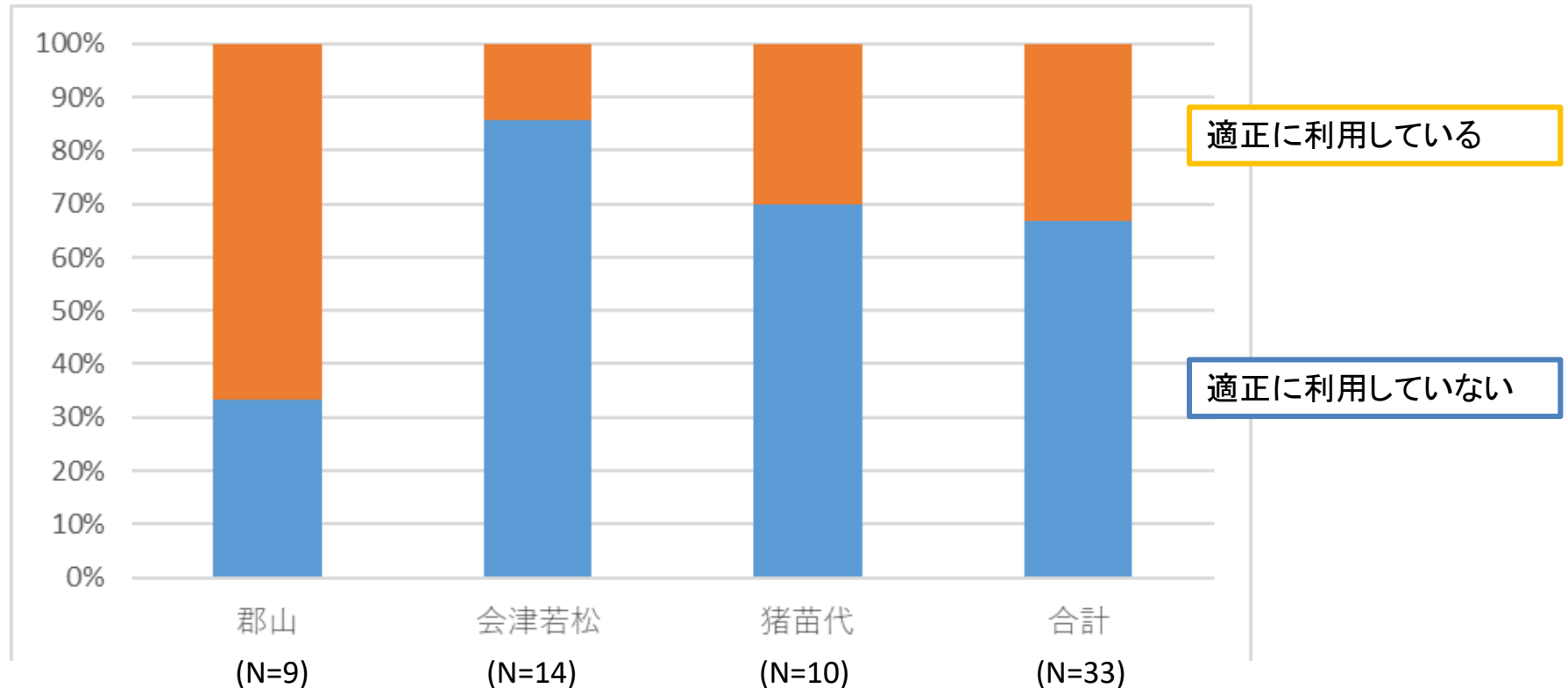
全体的に非動力船(23%)よりも動力船(77%)の割合が大きい。  
地域別では、会津若松の利用台数が最も多い。



# 利用状況の調査結果について

## (i) 利用実態調査結果

事業者や区長など33名から見て、利用客は航行規制を踏まえ、適正に利用しているか



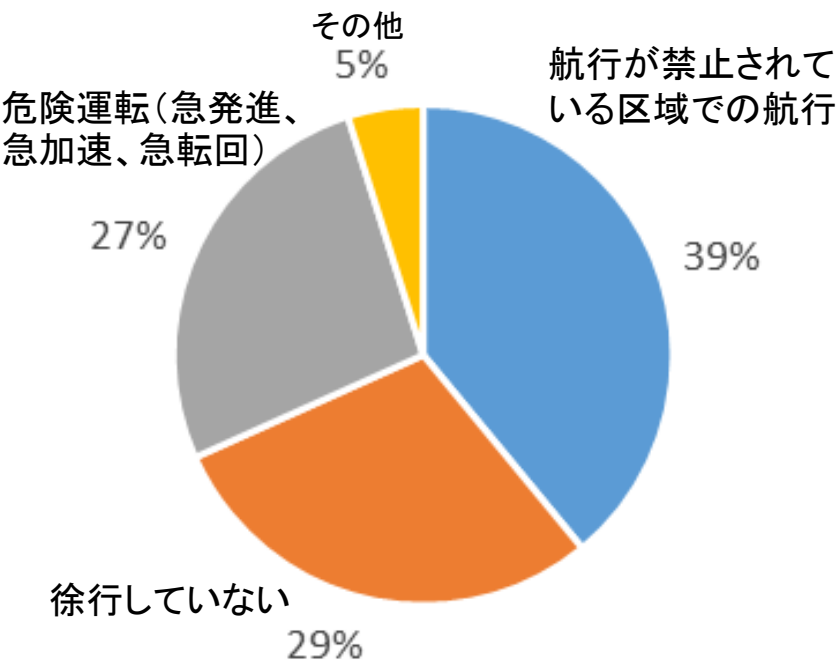
全体では、適正に利用していないとの回答のほうが多い。  
郡山では、適正に利用しているとの回答のほうが多い。

# 利用状況の調査結果について

## (i) 利用実態調査結果

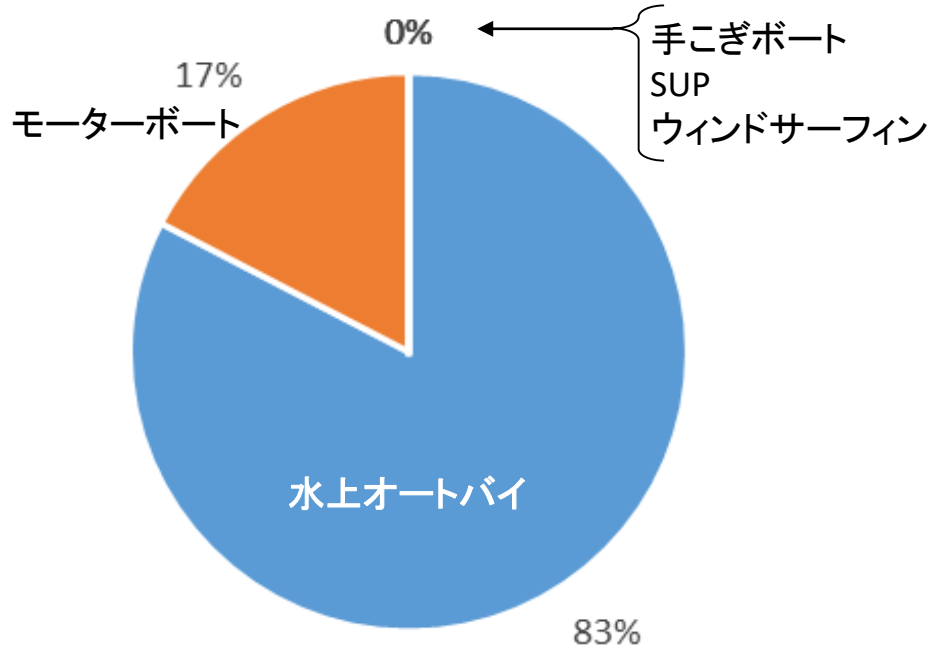
どのような危険行為が見られるか  
(複数回答可)

3地域合計(N=41)



危険行為が多い船舶の種類  
(複数回答可)

3地域合計(N=23)



3地域合計で、「航行が禁止されている区域での航行」、「徐行していない」、「危険運転(急発進、急加速、急転回)」が同程度の割合で見られている。

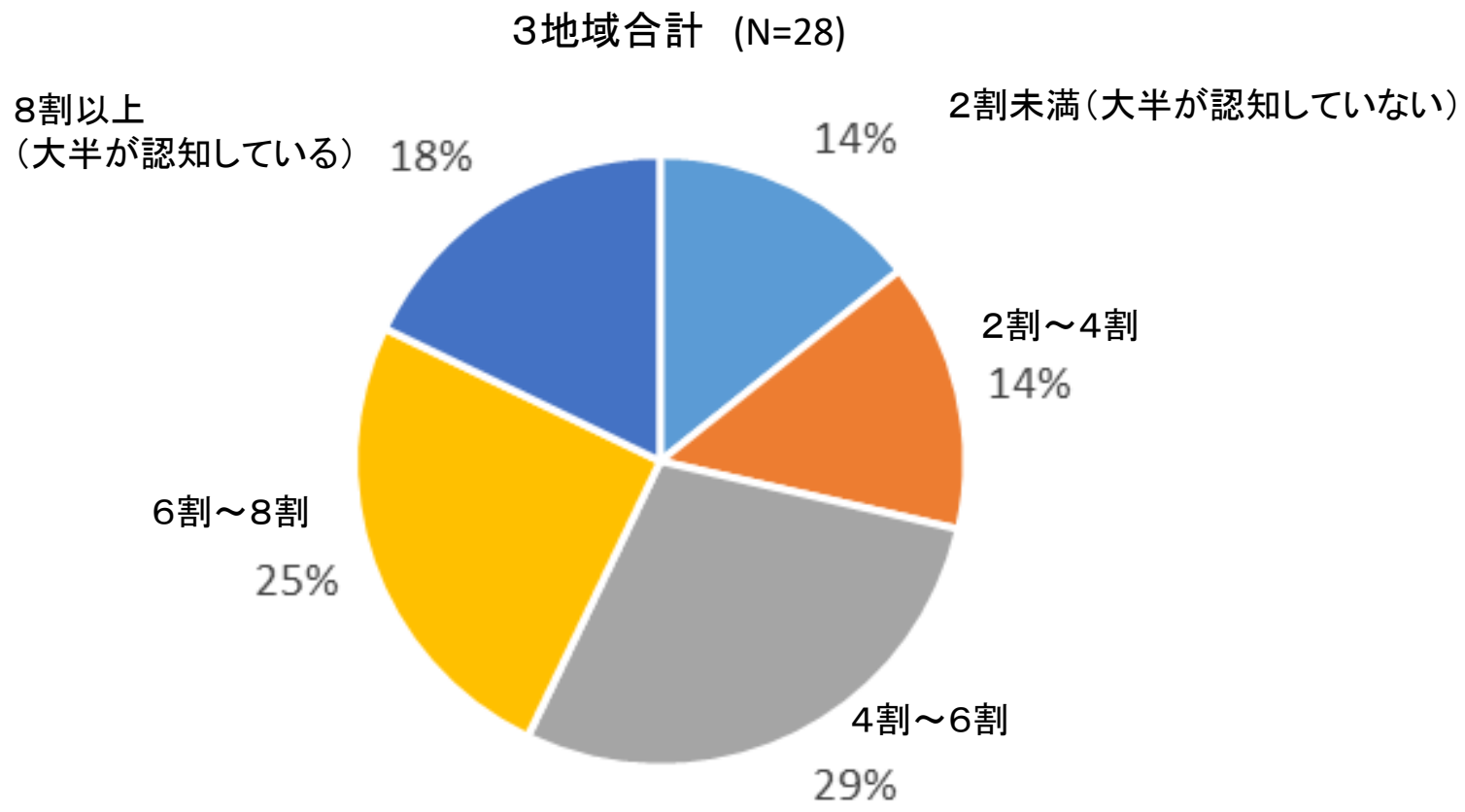
また、危険行為が多く見られるのは「動力船」であり、その中でも水上オートバイの割合が最も多い。

ルール遵守について、動力船利用者のうち、特に水上オートバイ利用者に対して重点的に周知する必要がある。

# 利用状況の調査結果について

## (i) 利用実態調査結果

事業者や区長等から見て、利用者がルールをどの程度認知していると思うか



「半数程度以上(6割以上)が認知している」との回答が43%ある一方で、「大半が理解していない(2割未満)」との回答も14%ある。

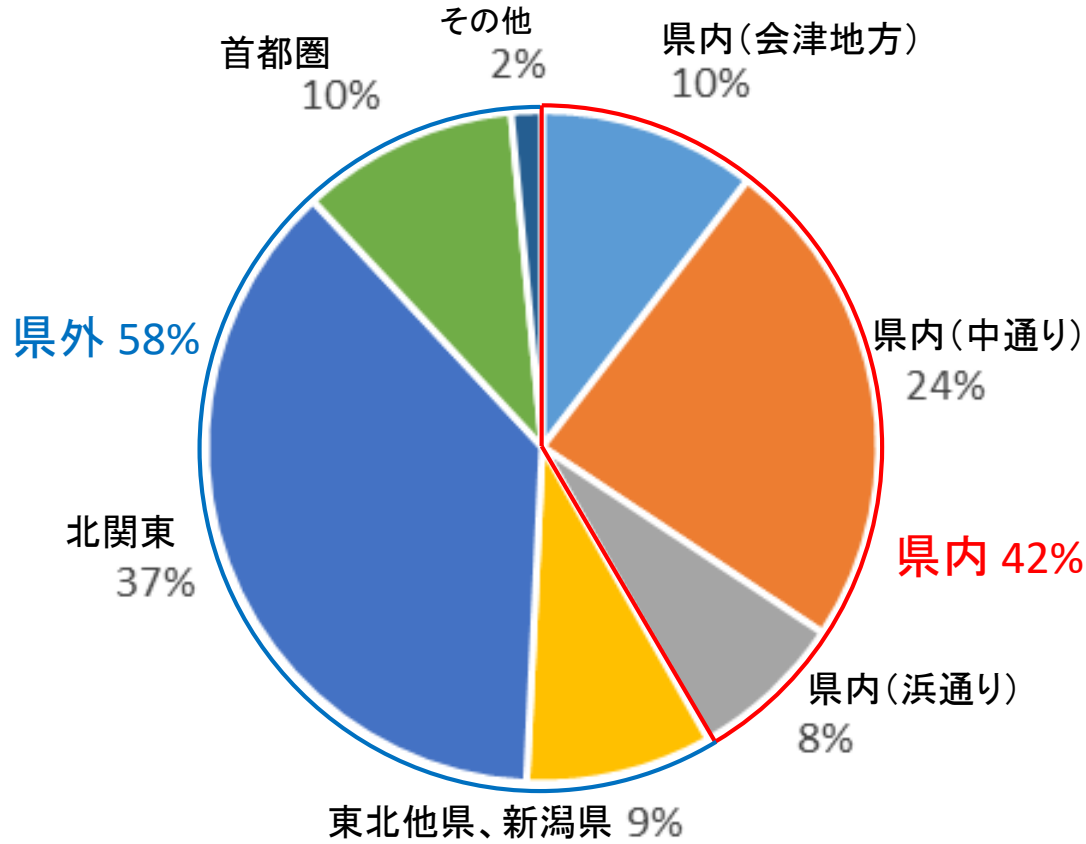
引き続き、利用者のルール認知度、理解度を向上させる取組が必要。

# 利用状況の調査結果について

## (i) 利用実態調査結果

各事業者等の利用者について、どの地域から来る利用者が多いか(複数回答可)

3地域合計 (N=67)



「北関東」との回答が最多で、次いで「中通り」との回答が多い。

北関東方面からの利用者に対して、重点的に利用ルールの周知を行う必要がある。

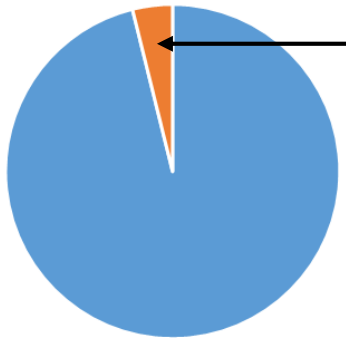
# 利用状況の調査結果について

## (ii) Webアンケート結果

### 外国人利用客の割合、出身国

外国人客の割合

※5月～10月の延べ利用客数と外国人客の割合から算出



外国人利用客  
約1,300人 (4%)

日本人利用客  
約32,000人 (96%)

#### アジア

インド	ヒンディー語		
韓国	韓国語		
カンボジア	クメール語		
スリランカ	シンハラ語	タミル語	英語
台湾	中国語(繁体字)		
中国	中国語(簡体字)		
パキスタン	ウルドゥー語	英語	
フィリピン	フィリピン語(タガログ語)	英語	
ベトナム	ベトナム語		

#### 欧州

ドイツ	ドイツ語
ロシア	ロシア語

#### 北米

アメリカ	英語
------	----

#### アフリカ

ガーナ	英語
-----	----

#### 南米

ブラジル	ポルトガル語
------	--------

#### オセアニア

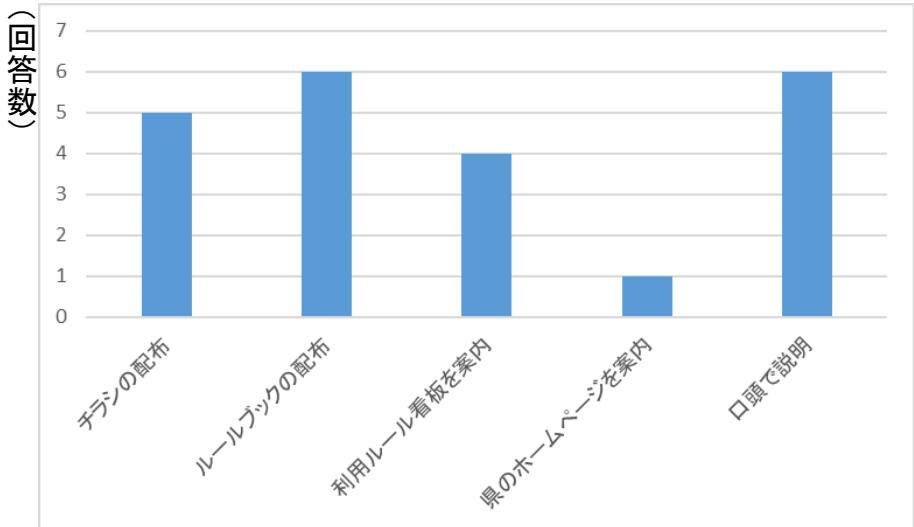
オーストラリア	英語
---------	----



# 利用状況の調査結果について

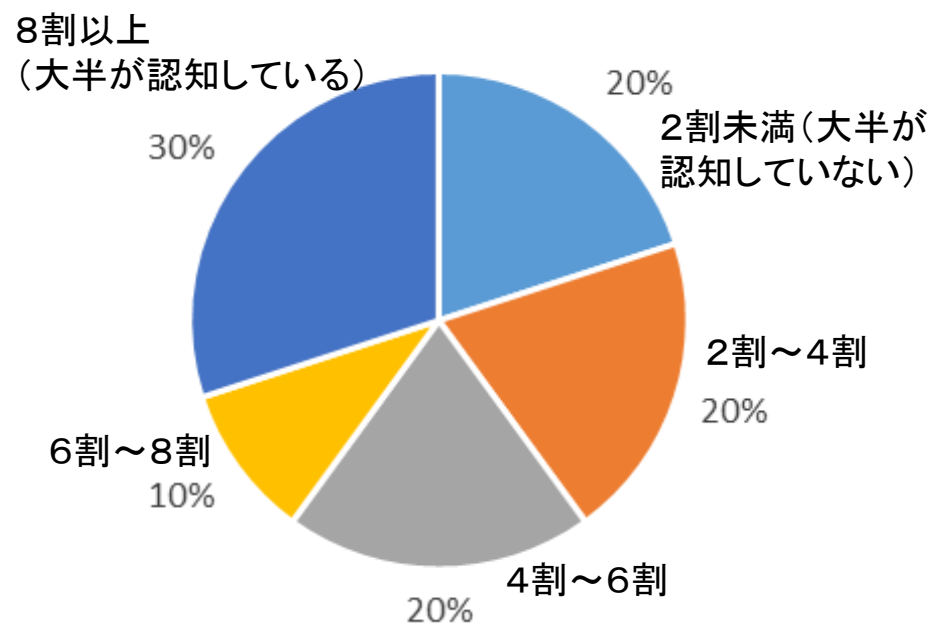
## (ii) Webアンケート結果

### 外国人利用客に対する説明手段(複数回答可)



※「口頭で説明」にはAI通訳機の使用を含む

### 外国人利用客の利用ルールの理解度



外国人利用客への説明方法は「口頭で説明」が最多。  
 「半数程度以上が認知している(6割以上)」との回答が40%(全体では43%)ある一方で、「大半が理解していない(2割未満)」との回答も20%(全体では14%)ある。

引き続き、外国人利用者のルール認知度、理解度を向上させる取組が必要。